



# 330 GC

## 油圧ショベル

## 技術仕様

### エンジン

エンジンモデル	Cat® C7.1
定格出力 (ネット) – ISO 9249	151 kW
定格出力 – SAE J1349	151 kW
定格出力 (グロス) – ISO 14396/SAE J1995	152 kW
内径	105 mm
行程	135 mm
総行程容積	7.01 L

- 米国 EPA Tier 4 Final、EU Stage IV、および日本国土交通省オフロード法 2014 年排出ガス要件に適合しています。
- 3,000 m 以上は出力低下があり、最大標高 4,500 m までの使用を推奨します。
- エンジンにファン、エアクリーナー、マフラー、およびオルタネーターが装備されている場合、宣伝されている定格出力はフライホイールの出力を示します。
- レート 1,800 rpm。

### エンジン回転数

作業時	1,750 rpm
走行時	1,750 rpm

### 旋回構造

旋回速度	11.50 rpm
旋回トルク	82 kN·m

### 質量

運転質量	28,600 kg
------	-----------

- 標準装備、リーチブーム、R3.2 m スティック、GDX 1.20 m<sup>3</sup>バケット、800 mm トリプルグラウザーシューズ、5,800 kg カウンタウエイト。

### トラック

オブショナルトラックシュー幅	800 mm
オブショナルトラックシュー幅	600 mm
シューの数 (片側)	45
トラックローラー数 (片側)	7
キャリアローラー数 (片側)	2

### ドライブ

最大登坂勾配	35°/70%
最高走行速度	5.3 km/h
最大けん引力	248 kN

### 油圧システム

メインシステム – 最大流量 – 作業時	560 L/min (280 × 2 ポンプ)
最大圧力 – 作業機	35,000 kPa
最大圧力 – 走行時	35,000 kPa
最大圧力 – 旋回時	28,400 kPa
ブームシリンダー – 内径	140 mm
ブームシリンダー – 行程	1,407 mm
アームシリンダー – 内径	150 mm
アームシリンダー – 行程	1,646 mm
バケットシリンダー – 内径	135 mm
バケットシリンダー – 行程	1,156 mm



オフロード法 2014 年  
基準適合

# 330 GC 油圧ショベル仕様

## 交換時の容量

燃料タンク容量	474 L
冷却水	25 L
エンジンオイル	25 L
旋回ドライブ	10 L
ファイナルドライブ (片側)	5.5 L
油圧システム (タンクを含む)	310 L
作動油タンク	147 L
尿素水タンク	41 L

## 標準

ブレーキ	ISO 10265:2008
キャブ/FOGS	ISO 10262:1998
キャブ/ROPS	ISO 12117-2:2008

## 防音性能

ISO 6395 (外部)	103 dB(A)
ISO 6396 (キャブ内部)	70 dB(A)

- 適切に設置され、メンテナンスされている場合、キャタピラが提供するキャブは、ANSI/SAE J1166 OCT98 に従って閉鎖されたドアと窓で試験すると、製造時に有効なオペレーターの騒音暴露限界に対する OSHA および MSHA の要件を満たします。
- オペレーター室とキャブ (適切なメンテナンスが行われていない場合、或いはドアまたは窓が開いている場合) が開いた状態で、長時間運転する、又は騒音のある環境で運転する場合は、聴力保護が必要となる場合があります。

## 運転質量と接地圧

	600 mm トリプルグロ ーサシュー		800 mm トリプルグロ ーサトラ ックシュー	
	質量 kg	接地圧 kPa	質量 kg	接地圧 kPa
基本機器 5,800 kg カウンターウェイトおよび標準足回り リーチブーム + R3.2CB2 アーム + 1.20 m <sup>3</sup> GDX バケット	27,600	59	28,600	46

運転質量合計には、燃料タンク 90% と 75 kg のオペレーターが含まれます。

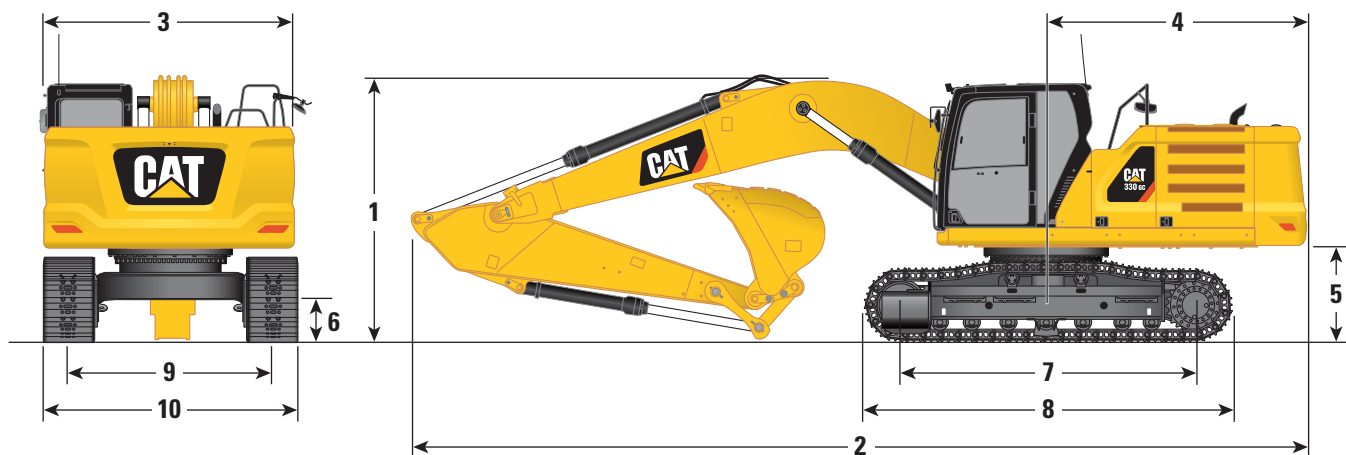
## 主要部品質量

	kg
基本機器 (カウンターウェイト 5,800 kg、上部フレーム、ローラー付標準装備) ブームシリンダーと 90% 重量燃料タンクおよび 75 kg オペレータ搭載。	19,500
トラックシュー：	
幅 600 mm、厚さ 11 mm、トリプルグローストラックシュー	3,280
幅 800 mm、厚さ 13 mm、ISO 2867 ステップ拡張付トリプルグローストラックシュー	4,240
2 × ブルームシリンダー	490
燃料タンク 90% と 75 kg のオペレーターの重量	460
カウンターウェイト：	
5,800 kg カウンターウェイト	5,800
足回り：	
ローラー付標準足回り	5,910
ブーム (ライン、ピン、シリンダーを含む)：	
到達距離 6.15 m	2,300
アーム (ライン、ピン、バケットシリンダー、バケットリンケージを含む)：	
リーチアーム R3.2CB2	1,440
バケット (リンク抜き、チップとサイドカッター付)：	
1.50 m <sup>3</sup> GDX、CB リンケージ	1,200
1.30 m <sup>3</sup> HDX、CB リンケージ	1,240
1.20 m <sup>3</sup> GDX、CB リンケージ	1,070
1.10 m <sup>3</sup> GDX、CB リンケージ	1,020
クイックカブラー：	
ピングラバー QC CB ピン付	530
ピングラバー QC CB ピン抜き	500
QC 専用	430

# 330 GC 油圧ショベル仕様

## 寸法

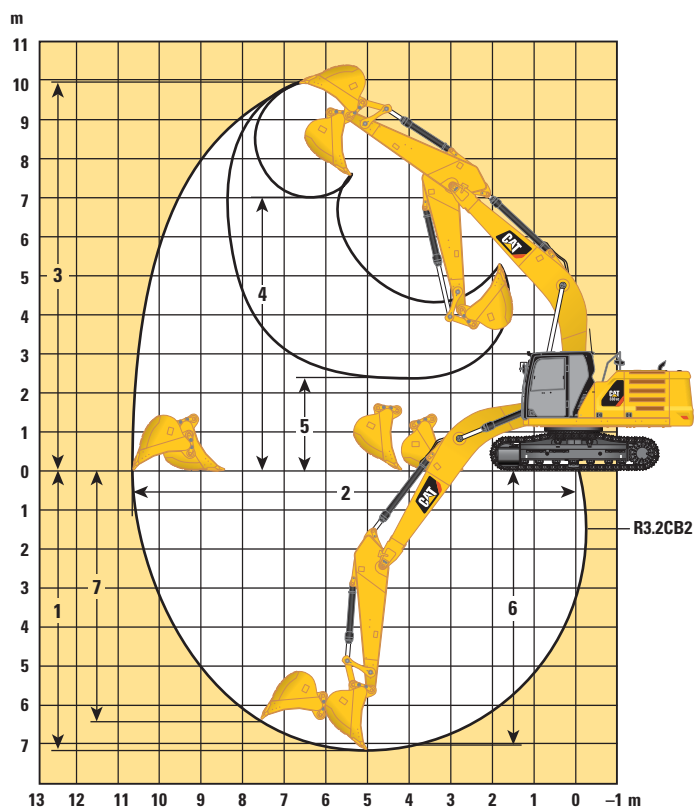
寸法合計はおよその数値で、バケットの選択肢に寄って異なる場合があります。



ブームオプション	リーチブーム 6.15 m
アームオプション	リーチアーム R3.2CB2
<b>1 機械高さ：</b>	
キャブ高	3,050 mm
FOGS 高	3,190 mm
ガードレール/手すり高	3,050 mm
ブーム/アーム/バケット込み	3,400 mm
ブーム/アーム込み	3,380 mm
ブーム込み	3,050 mm
<b>2 機械全長：</b>	
ブーム/アーム/バケット込み	10,420 mm
ブーム/アーム込み	10,420 mm
ブーム込み	9,230 mm
<b>3 通路を除いたフレーム上部幅</b>	2,940 mm
<b>4 後端旋回半径</b>	3,130 mm
<b>5 カウンターウエイト下端高さ</b>	1,110 mm
<b>6 最低地上高</b>	490 mm
<b>7 タンブラ中心距離</b>	3,490 mm
<b>8 トラック全長</b>	4,360 mm
<b>9 軌間ゲージ延長</b>	2,390 mm
トラック幅：	
600 mm シュー	600 mm
800 mm シュー	800 mm
<b>10 足回り幅 (段あり/段なし)：</b>	
600 mm シュー	2,990 mm
800 mm シュー	3,190 mm
バケット種類	GDX
バケット容量	1.20 m <sup>3</sup>
バケット先端半径	1,580 mm

## 作業範囲・掘削力

寸法合計はおよその数値で、バケットの選択肢に寄って異なる場合があります。



ブームオプション	リーチブーム 6.15 m
アームオプション	リーチアーム R3.2CB2
1 最大掘削深さ	7,180 mm
2 最大床面リーチ	10,610 mm
3 最大掘削高	9,980 mm
4 最大ダンプ高	7,010 mm
5 最小ダンプ高	2,360 mm
6 最大掘削深-2,440 mm の水平最深部	7,020 mm
7 最大垂直掘削深さ	6,330 mm
バケット掘削力 (SAE)	165 kN
バケット掘削力 (ISO)	189 kN
アーム掘削力 (SAE)	124 kN
アーム掘削力 (ISO)	128 kN
バケット種類	GDX
バケット容量	1.20 m <sup>3</sup>
バケット先端半径	1,580 mm

# 330 GC 油圧ショベル仕様

## バケット仕様と互換性

	リンケージ	幅	容量	質量	フィル	5.8 t カウンターウェイト リーチブーム
		mm	m <sup>3</sup>	kg	%	R3.2CB2
<b>ピンオン(クイックカブラなし)</b>						
標準掘削発掘 (GDX)	CB	1,300	1.10	983	100	●
	CB	1,350	1.20	1,034	100	●
	CB	1,650	1.50	1,157	100	⊖
ヘビーデューティ-掘削 (HDX)	CB	1,300	1.10	1,110	100	●
	CB	1,450	1.30	1,213	100	⊙
ピンオンでの最大積載量 (ペイロード+バケット)					kg	3,660
<b>ピングラバークイックカブラ付</b>						
標準掘削 (QDX)	CB	1,300	1.10	983	100	⊙
	CB	1,350	1.20	1,034	100	⊙
	CB	1,650	1.50	1,157	100	○
ヘビーデューティ-掘削 (HDX)	CB	1,300	1.10	1,110	100	⊙
	CB	1,450	1.30	1,213	100	⊖
カブラ付き最大積載量 (ペイロード+バケット)					kg	3,134

上記の積載量は、油圧式ショベル水準 EN474-5:2006 + A3:2013 に準拠しており、油圧リフト容量 87% を超過しない、あるいはバケットが曲がった状態で地上でフロントリンケージが完全に伸びた場合の先端容量 75% を超過しません。容量は ISO 7451:2007 に基づきます。標準掘削チップ付きバケット質量。

### 最大材料密度：

- 2,100 kg/m<sup>3</sup>
- ⊙ 1,800 kg/m<sup>3</sup>
- ⊖ 1,500 kg/m<sup>3</sup>
- 1,200 kg/m<sup>3</sup>

お客様に弊社の製品を最大限にご利用いただくため、キャタピラーから、適切な作業ツールをご利用いただくようお願いいたします。キャタピラーが推奨または特定する質量、サイズ、フロー、圧力など以外の、バケットを含む作業ツールの使用は、最適性能を達成できない可能性があり、それには生産性、安定性、信頼性、そして部品の耐久性の低下を含みますが、それには限定されません。作業ツールの不適正使用によって、重たい対象物を掃いたり、掘り返したり、ねじったり、および又は掴んだりすることは、ブームとアームの寿命を縮小させることに繋がります。

## アタッチメント提供ガイド

## ピンオンアタッチメント

カウンターウェイト		5.8 t
ブーム種類		リーチ
アーム長さ		3.20 m
油圧ハンマー	H120Es	✓
	H130Es	✓
	H140Es	✓

## CAT ビングラバカブラアタッチメント

カウンターウェイト		5.8 t
ブーム種類		リーチ
アーム長		3.20 m
油圧ハンマー	H120Es	✓
	H130Es	✓
	H140Es	✓

# 330 GC 標準およびオプション装備品

## 標準およびオプション装備品

標準およびオプション装備品は異なる場合があります。詳細については、Cat ディーラーにお問い合わせください。

	標準	オプション		標準	オプション
<b>キャブ</b>			<b>エンジン</b>		
ROPS 規格適合、低騒音型	✓		2種類のパワーモード：パワー、スマート	✓	
メカニカルサスペンションシート	✓		ワンタッチで回転数を下げられるオートエンジンスピードコントロール	✓	
高さ調整可能コンソール (工具を用いて3段階)	✓		自動エンジンアイドルシャットダウン	✓	
高解像度 203 mm、LCD タッチスクリーン モニター	✓		標高能 4,500 m、3,000 m 以上はエンジン出力が低下します	✓	
頭寒足熱機能	✓		外気温 52° C で対応するクーリング性能、 デレーティングなし	✓	
モニタ操作用ジョグダイヤルおよびショート カットキー	✓		外気温 -18° C での寒冷時始動機能	✓	
プッシュスタートボタンによるキーレスエ ンジン制御	✓		外気温 -32° C での寒冷時始動機能		✓
51 mm シートベルト	✓		2 × 115 amp デュアルオルタネータ	✓	
Bluetooth® 搭載ラジオ (USB ポート付)	✓		シールドダブルエレメント・エアフィルター (プレクリーナ搭載)	✓	
12 V 電源ソケット (×2)	✓		2 段階燃料フィルタ (ウォーターセパレータとインジケータ付)	✓	
書類収納スペース	✓		電動燃料プライミングポンプ	✓	
カップおよびボトルホルダー	✓		オンデマンド電動冷却ファン (自動リバース機能付)	✓	
開閉式 2 ピースフロントウィンドー	✓		最大 B20 までのバイオディーゼルに適合	✓	
ウォッシャー付上部ラジアルワイパー	✓		<b>油圧システム</b>		
開閉式スチール・スカイライトハッチ	✓		電動メインコントロールバルブ	✓	
LED ドームと室内照明	✓		電子ブームの再生回路	✓	
フロントウィンドー用ロールサンシェード	✓		アームの再生回路	✓	
ローラー後部日焼け止め		✓	作動油の自動加熱機能	✓	
リアウィンドウ非常口	✓		自動 2 速走行	✓	
ウォッシュャブルフロアマット	✓		ブームとアームの自然降下コントロール バルブ	✓	
ビーコン対応	✓		高性能作動油リターンフィルター	✓	
<b>CAT CONNECT (CAT コネクト) テクノロジー</b>			バイオ作動油に適合可能な移動モーター を使用したファイナルドライブ	✓	
Cat Product Link™ (Cat プロダクトリンク)	✓		ブレーカ用リターンフィルタ回路		✓
			ツール制御 (2 つのポンプ、 1/2 方向の高圧フロー)		✓
			中圧回路		✓
			Cat ピングラバーおよび CW 専用共通ク ックカピラ回路		✓
			電子操作パターンチェンジャ (有効化が必要です)	✓	

(次のページに続く)



## 標準およびオプション装備品 (続き)

標準およびオプション装備品は異なる場合があります。詳細については、Cat ディーラーにお問い合わせください。

	標準	オプション		標準	オプション
<b>ブーム、アームおよびリンケージ</b>			<b>サービス点検とメンテナンス</b>		
6.15 m リーチブーム	✓		一か所に配置されたエンジンオイルと燃料フィルター	✓	
3.2 m リーチアーム、CB2 リンケージ	✓		エンジンオイル用グランドレベル第2デッドエンドアーム	✓	
バケットリンケージ、CB2 ファミリー	✓		サービスプラットフォームへのサイドエントリ	✓	
<b>車台と構造</b>			定期的なオイルサンプリング用 (S-O-S <sup>SM</sup> ) ポート	✓	
トラック・ガイディングガード、中央	✓		ラジエータスクリーン		✓
ボトムガード	✓		<b>安全とセキュリティ</b>		
走行モーターガード	✓		リアビューカメラ	✓	
グリース封入式トラック	✓		右サイドビューカメラ	✓	
輸送時固定用アイ (ベースフレーム)	✓		Cat 資源トラッカー		✓
5,800 kg カウンターウェイト	✓		PIN コードを使用した安全なスタート	✓	
600 mm トリプルグローサトラックスチャー		✓	Caterpillar ワンキー セキュリティシステム	✓	
800 mm トリプルグローサトラックスチャー		✓	施錠式外部ツール・収納ボックス	✓	
<b>電気システム</b>			施錠式ドア、燃料、作動油タンクロック	✓	
2 × 機械電子制御モジュール	✓		施錠式燃料排出室	✓	
1,000 CCA のメンテナンスフリーバッテリー (×2)	✓		滑り止めを施したプレートと埋め込み式ボルトを採用したサービスプラットフォーム	✓	
エンジンのシャットダウン後、プログラム可能な時間遅延 LED 作動ライト：シャーシマウント1つ、LH ブームマウント1つ	✓		RH ハンドレールとハンドホールド (ISO 2867 の規格適合)	✓	
一元化された電気切断スイッチ	✓		RH トラックエッジ対応キャブミラー	✓	
LED シャーシライト	✓		警告シグナル/警告ホーン	✓	
LED LH および RH ブームライト、キャブライト		✓	キャブ内エンジン停止スイッチ (地上操作可能)	✓	
電子技術互換性	✓		全制御無効油圧ロックアウトレバー	✓	

# 330 GC アタッチメント

## ディーラーインストール済みキットとアタッチメント

アタッチメントは変更される場合があります。詳細については、Cat ディーラーにお問い合わせください。

### キャブ

- ツールコントロール用左右 (双方向) 電気ペダル
- ツーピース (70/30) フロントガラス対応ラジアル下部ワイパー、ウォッシャー付
- ポリカーボネートルーフハッチ

### 安全とセキュリティ

- Bluetooth レシーバー

### ガード

- STD スイベルガード
- HD スイベルガード
- 落下物ガードシステム (キャブライトカバー、雨除けとの互換性なし)
- メッシュガード・フルフロント (キャブライトカバー、雨除けとの互換性なし)
- メッシュガード下半面

### 油圧

- ツール制御 (2 つのポンプ、1/2 方向の高圧フロー)
- 中圧回路
- Cat ピングラバーおよび CW 専用共通クイックカピラ回路

Cat 製品、ディーラサービス、業種別ソリューションの詳細については、[www.cat.com](http://www.cat.com) をご覧ください。

© 2018 Caterpillar  
無断転載を禁じます。

記述の内容と仕様は、予告なしに変更されることがあります。写真の車両には、オプション装備品が装着されていることがあります。装着可能なオプションについては、Cat ディーラーにお問い合わせください。

CAT、CATERPILLAR、LET'S DO THE WORK、それらの各ロゴ、"Caterpillar Yellow" および "Power Edge" のトレードドレスは、ここに記載されている企業および製品と同様に、Caterpillar 社の商標であり、許可なく使用することはできません。

日本の労働安全衛生規則に基づき、小規模工事設備の雇用主は、積込重量 3 トン以下の機械のオペレーター全員に、特別訓練機会を提供することが義務づけられています。労働安全衛生法に基づき、機体質量 3 トン以上の「車両系建設機械 (整地、運搬、積込、掘削用および解体用)」の運転には、登録教習機関の行う「技能講習」を受講し修了証の取得が必要です。

AJXJ0088 (11-2018)  
ビルドナンバー: 07A  
(日本)

